

自主的な市町村の合併の推進に関する構想（素案）に対する主な意見

1 構想対象市町村の組合せ（龍ヶ崎市・利根町）に関する意見（1,197件） 【賛成】（1,142件）

龍ヶ崎市と利根町の合併が1日でも早く実現することを望んでいます。よろしくお願いします。利根町民

利根町民のほとんどが合併を望んでいます。龍ヶ崎市民の皆様の諸事情へのご理解をよろしくお願いします。利根町民

県内で合併を推進する市町村の組合せとして、利根町と龍ヶ崎市が唯一位置付けられたことを大変うれしく思います。私たちは、すでに、生活圏として龍ヶ崎市はなくてはならないところとなっています。買い物の多くは龍ヶ崎市、郵便局の配達も龍ヶ崎局、税務署も龍ヶ崎で確定申告には出向いております。このようにあたかも龍ヶ崎市民のごとく、実際に生活しているのですから一日でも早く龍ヶ崎市民となることを切望します。利根町民

龍ヶ崎市との合併をぜひ実現して欲しい。利根町独自では将来的展望が望めない。早期実現を希望します。利根町民

龍ヶ崎市との合併に賛成します。合併することにより行政コストを減らすことが可能になると思います。そして、利根町が第二、第三の夕張市にならないように願っています。利根町民

龍ヶ崎市・利根町による合併協議会が設置され、合併は成立するものと思っておりましたのに、合意に至らず、大変残念な思いをしました。子どもから老人まで安心した生活が送れるよう龍ヶ崎市との合併を強く望みます。利根町民

平成15年12月龍ヶ崎市議会初日、串田龍ヶ崎市長の表明「龍ヶ崎市と利根町の合併は、合併効果が期待できる」というものでした。16年1月から始まった合併協議会に賭けました。しかし、利根前町長の数々の合併壊しの言動に私たちは、「市長はじめ龍ヶ崎市民のみなさんに本当に申し訳ない、何とか・・・と、祈る思いで、毎回利根町民は合併協議会の傍聴に臨みました。串田龍ヶ崎市長の「利根町民のことを思うと・・・」という暖かい言葉に「編入合併でも、何のためらいもなく龍ヶ崎市に委ねられる」と、今まで希望を繋いでまいりました。

平成17年3月31日、合併協議会閉会式直前に串田市長から直接「引き続き」ということばを伺って、4月4日に前町長リコールを立ち上げました。合併推進の現町長が大差で当選しました。「串田市長の合併政策に間違いなかったということを利根町民は証明した」と、思いました。

素案には、行政改革、人口対策として、合併の必要性が改めて盛り込まれています。将来の町づくりのためにも「龍ヶ崎市長のあの合併の政策決定が一日も早く実現すること」、改めてその思いを強くしました。利根町民

利根町住民の多数は、龍ヶ崎市との合併を望んでいます。利根町と龍ヶ崎市は合併の可能性がある地域です。新法では構想対象市町村に合併協議会設置を勧告する知事権限が設置されています。強力な権限で推進をお願いいたします。利根町民

龍ヶ崎市との合併を強く望みます。県においては財政面での支援もあわせてお願いしたい。

利根町民

龍ヶ崎市の合併気運の高まりを消極的に待つだけでなく、県が合併優遇措置の拡大等によって合併気運を高めることを期待します。 利根町民

「龍ヶ崎市・利根町」を合併協議を進めることが望ましい市町村の組合せとする県の立場において、両市町の合併実現に積極的なお力添えをぜひお願いしたい。その前提として両市町の自主性が強調されるので、利根町としても我々町民の民間任意団体が行政・議会と三位一体となって、町民の6割以上が要望する龍ヶ崎市との合併問題に取り組み、その実現に注力しているところである。

しかし、龍ヶ崎市側にある課題が壁になってなかなか前進していない現状に我々もやきもきしている。そこで、県として、この課題解決の一助となる特別措置として、両市町のインフラ整備に伴う起債に、国・県の新しい合併インセンティブを付与し、両市町の財政負担を軽減させることを早急に検討してもらいたい。 利根町民

構想（素案） 基本的な事項にあるように、安定的、発展的に行政運営を行うためには規模と能力を備える必要があり、それには茨城県は10程度の自治体にまとまった方がよいと考えます。従って、龍ヶ崎市と利根町の合併が提案されているのは、今までのいきさつも考えると適切であり、推進していくべきですが、財政基盤を強化し、人口減少・少子高齢化に十分対応していくには、龍ヶ崎市・取手市・牛久市・守谷市・つくばみらい市・利根町の6市町の合併が望ましい。県としては、当面龍ヶ崎市と利根町の合併を支援するが、将来は6市町の合併が望ましいことを明示していただきたい。 利根町民

龍ヶ崎市の望む二市一町（牛久市・利根町）の合併は二段階として第一次合併の対象を利根町とし、二次的に人口規模が拡大した新龍ヶ崎市として牛久市と合併交渉することの方が有利であり、その方が望ましいとする構想を打ち出してもらいたい。 利根町民

町民は現在も龍ヶ崎市との合併を望んでいる。審議会の指導のもとによる合併がぜひ実現すればよいと考えている。しかしながら、合併実現後においても、龍ヶ崎市は財政負担率が高い市町村に位置付けられており、長期的には財源の確保を行わなければならない。審議会においては、単に地理的要因からだけでなく、財源のある市区町村とない市区町村をうまく組合せて、合併を推進していただきたいと思います。龍ヶ崎市は、第2段として牛久市と合併していくことを考える必要があると思います。 利根町民

何はともあれ龍ヶ崎市と利根町との合併を望みます。次に、茨城県の玄関として広域合併（取手市、牛久市、守谷市）等々。そして、近い将来はつくば市等と合併し、政令指定都市をめざしてほしいものです。 利根町民

少子高齢化、人口減少が始まった現在、行政コストの大幅な削減は避けて通れない課題である。私見では、市の人口規模はミニマム30万人程度と考えている。この様な視点からも、龍ヶ崎市と利根町との合併は早急を実現する必要がある。将来的には、取手市、牛久市との合併も考えることが重要である。行政コストを如何に早く、スムーズに削減するかが、求められている。 利根町民

合併の第一段階として利根町と龍ヶ崎市との合併を考えるが、財政基盤の確立からそれだけでは不十分。もっと、先には、広域合併がなければ意味がない。（行政的にも、現在の警察は取手、消防は龍ヶ崎とならないよう解消すべき） 利根町民

素案によれば、（３）構想対象市町村の組合せの記事中の「龍ヶ崎市・利根町は、…利根町の事情により合併に至らなかった」とありますが、もう少し分析して欲しいと思っています。

合併促進にあたって、１つの視点として、各地域にモデル都市を考え、これに具体的数値（人口、市職員数、議員、高校、病院・・・）を与えて住民各位の努力目標とし、各位の国を愛し、自分を守る志に訴えるように計ってはいかがでしょうか。

地域だけの利害を示すだけでは、例えば、利根町の場合龍ヶ崎市民の合意を得られないように思います。 利根町民

合併の成否に関して、一番肝要なのは、龍ヶ崎の一般市民の世論、すなわち、２年前に「合併破綻」に対する不信感をいかにして払拭するかであろう。そのためには、その「破綻」についての可能な限りに真相、実相に迫った「調査」「報告」そして「釈明」の提示が必要である。例えば、大学教授等を中心にした「調査団」を編成してそれを実現し、世論への訴えかけが成されれば合併に関する事態は急速な進展を見せるのではないだろうか。 利根町民

利根町にとって、合併は不可避、早期実現が望まれる。ついでに、相手側の龍ヶ崎市にとって、利根町との合併がメリットとなる諸点を探し、その点を訴えていくことが肝要。 利根町民

利根町と合併することにより、千葉県と隣接することができるので、龍ヶ崎市との発展につながると考える。 龍ヶ崎市民

- 1 龍ヶ崎市と利根町は接面が広く、川などで分けられず自然に一体化が可能。
- 2 茨城県と千葉県を結ぶには利根町を通ります。龍ヶ崎市と利根町が合併し、交通網を整備することにより、より利便性が良くなります。
- 3 利根町の人口から考えると公共施設等を単独で建設し運用することは無理です。合併により龍ヶ崎市と適正な負担をすることで経費節減が図れます。
- 4 行政その他重複している人員、その他の経過が節減できます。
- 5 合併により自分たちのまちが広がり歴史的あるいは自然が自分たちのものになります。・・・利根川、牛久沼、小貝川、小野川が。文化も共有しましょう。
- 6 古くなりますが、土岐氏が龍ヶ崎を治めたとき、現在の豊島氏と縁を結び、後に土岐氏も救われました。
- 7 つまらぬことに拘ることなく、よりよいまちをつくり、仲良くしましょう。

龍ヶ崎市民

利根町民の皆様の合併への熱意と努力は大変なものだと身近に感じ龍ヶ崎市民といたしましても一日も早い合併を切に願います。又、南が丘は市のはずれであり、公共施設も車なしでは利用不可能な地区であり、合併によって利根町の近くの施設が利用できれば、先々も利点が多く合併賛成です。 龍ヶ崎市民

先の利根町との合併がゼロになったときから、龍ヶ崎市民は「別に今すぐ合併どうこうじゃなくても・・・」という考えが多くなったように思います。でも、いずれ龍ヶ崎も似たりよったりの状況になってくると思うし、こういった問題はタイミングと言うことが大きく作用すると思うので、この機会に一步前進の方法の一つとして、利根町との合併をまとめるのが望ましいと思います。 龍ヶ崎市民

利根町はまちづくりを自主的にやって道路の草刈りもボランティアでやっている人たちがいます。龍ヶ崎も利根町のいいところは学んで、一緒にまちづくりをしたらいいと思います。合併を早く実現してください。 龍ヶ崎市民

住民に利益をもたらすような合併をしてほしい。住民税減額，議員，市職員の削減等
龍ヶ崎市民

利根町・龍ヶ崎市の合併協議を進めることが望ましいと思います。人口減少社会・少子高齢社会への対応など住民サービス低下にならないようにする為にも社会経済情勢の変化に的確に対応していく必要があると思います。 取手市民

財政基盤を強化するためにも、今後、利根町と龍ヶ崎市の合併協議を進めることが望ましいと考えます。 つくばみらい市民

私の実家は利根町です。いずれは利根町に戻る予定です。龍ヶ崎市と利根町の早期合併を望みます。 東京都江戸川区民

【反 対】(1 9 件)

利根町の合併には賛成である。合併先として、取手市を優先すべきである。理由として、取手市は龍ヶ崎市に比べ、地域としての先進性があり、交通が便利、東京に近い。 利根町民

私は、交通の便、都心への通勤などを考えると取手市との合併を希望します。合併が前回なくなったのだから、もう一度、町民は本当にどことの合併を望んでいるのか、そこからスタートしてほしいです。龍ヶ崎市と合併してどのようなメリットがあるのか町長から住民に説明もありません。取手市と合併できるようよろしくお願いします。 利根町民

市町村合併に基本的に賛成。ただし、大きな町と小さな町、一対一の合併では、利根町が不利になることは明らかである。人口は龍ヶ崎市は利根町の約 6.9 倍である。議員数を考えても利根町不利である。その他、龍ヶ崎市は財政状況がよくない。私の希望としては、利根町、龍ヶ崎市・取手市・河内町である。 利根町民

利根町住民の約 70%は合併に希望を抱いていると思う。受け入れる側で小さな利根町と合併するのは迷惑のようです。利根町からのお土産（特例債）なしでは当分の間無理ではないか。取手市、龍ヶ崎市、利根町、河内町、牛久市の県南一の大都市の合併の実現を歴史に残る大事業としてご指導ください。大きいほど、小さな事にはこだわりがないように思います。

利根町民

利根町は、取手市・守谷市と合併すべきだと思う。元々、北相馬郡で一緒であったため。もしくは、県南全てが一つの市となるべきではないでしょうか。(龍ヶ崎市・利根町・河内町・取手市・守谷市・稲敷市) 利根町民

早く合併してください。利根町も第 2 第 3 の夕張になります。龍ヶ崎市も財政状況は良ないので、取手市、守谷市、牛久市と共に合併すれば良いと思います。 利根町民

龍ヶ崎市との合併は反対。財政の苦しい市、住民に負担が多くなる。合併をするとしたら、河内町、利根町、取手市を希望する。 利根町民

取手市・河内町・利根町・守谷市の四市町の合併を上部（県・国）の指令の下に進めるべき。このような合併は、下から積み上げて時間も掛かるだけで、進まない。 利根町民

国の基本指針に鑑み、合併は県単位すら将来的に侵すことも見通しているはず。従っ

て、利根川という大きな共有資産を有する我孫子市・取手市・河内町等との合併構想を検討しても良いのでは。 利根町民

もともと、利根町と龍ヶ崎市とは、稲敷、北相馬といった郡の違いもあり、手放しの賛成はいたしかねる。ここで合併したからといって、今の生活が良くなるという補償が必ずあるとは思われません。 利根町民

小さい町なので、5市町(龍ヶ崎市・取手市・牛久市・河内町・利根町)の合併を最初に、次いで、守谷市、つくばみらい市、つくば市。阿見町、美浦村、かすみがうら市、稲敷市と合併 利根町民

交通機関や通信の発達により、住民の生活行動が広がっており、また、小さな市町村単位の行政では今後の少子・高齢化社会に進む時代になると間接費(公務員費)でパンクしてしまいます。このため、広範囲(20~30万都市)の行政エリアにすべきであります。 利根町民

私の選択は、利根町が自力で小さくても魅力的なまちづくりを推進することです。もちろん、現在の延長線では全然だめです。行政の力量、議員のレベル、そして住民の意識など、全てにおいて地方分権に応える体制にはありません。有識者の意見や成功例を参考にして、住民参加の思い切った大改革(まちづくり)を推し進めるべきです。 利根町民

【その他】(36件)

合併推進審議会より、利根町と龍ヶ崎市との合併が望ましいとの勧告が出されたが、本件についての勧告の経緯について公表できないものであろうか。

平成の合併推進が政府主導型で推移し、それに呼応しての合併が推進された。しかし、住民はそうした政策に対し如何に判断すべきかがしっくり理解しているとは言い難いと思う。従って、合併による利害がいかなるものかという説明を十分すべきと思う。 利根町民

今回の利根町・龍ヶ崎市との合併勧告についての情報公開を徹底し、十分説明を行った上での結論をだすべき。特に財政上の体質については全てを公開しているとはおもえないが。

積極的な情報公開術を構築し、広く分かりやすく知らしめる必要があると思われる。今回4項目(人口の将来予測、高齢者の予測、財政負担、合併効果の具体例)について公表しているが、これらの課題のほか、将来予測される課題について提案し意見を求めるように努力してもらいたい。 利根町民

合併効果と併せて弊害のような状況も一覧にして記載されているが、弊害についてはかなりカットされてしまっているのではないかと思う。もっと的確に公表すべきと思う。 利根町民

龍ヶ崎市との合併メリットが、不明なので明らかにしてから判断する。*合併の是非のみで、必要性を十分議論されて(公開)いないように感じます。 利根町民

なぜ合併が必要なのか。相互に財政基盤の脆弱な自治体同士が合併してどのようなメリットが生まれるのか、を明確に住民にアピールする行政側の努力・熱意が不足しているのではないか。 利根町民

現在、私の住む利根町の財政がどのような状態か正直わかりません。ただ、よく周りから

合併しないと利根町もやって行けないとの話は聞きます。財政も大切ですが、合併よって住民がよくなったと思えるサービスなどがうけられそうかなど提示してもらえると住民の合併への意識も変わってくると思います。 利根町民

合併によって利根町住民にどのようなメリットがあるのか。合併しない場合にどのような不利益が生ずるのかについて、知りたいと考えております。高齢化が進む中、お年寄りに少しでも豊かな余生が過ごせるような社会になることを希っています。 利根町民

早急に隣接市（龍ヶ崎市、取手市、或いは牛久市）との合併実現を望みます。 利根町民
合併にはこれまで望んでいましたが、もし出来ないのなら町で何かをしなければいけないと考えています。このまま、現状での動きは考えものと思っています。どちらになっても私に出来ることは協力していきたいと思います。 利根町民

至急、合併してほしいと思っています。龍ヶ崎市でも取手市でもどちらでもいい。よろしくお願いします。 利根町民

合併推進どんどん話し合ってください。龍ヶ崎市でも取手市でも町民の事を考えるならすべきです。町を豊かにするためにも早めてほしいです。 利根町民

利根町は、収入になるような財源がないので、財源があるところと一緒にあったほうが良いと思う。 利根町民

メリットが多いのであれば賛成。 利根町民

合併によって高齢者の比率は小さくなり、対応は楽になると思われるので、今よりサービスの質が悪くなったり住民の負担がこれ以上増加しないこと。合併により行政コストを下げる（例えば議員定数・重複職員を減らす）こと。税収と支出のバランスを考えて、それが本当に必要なものか、市の活性化に資するものか、そして今後の財政負担に耐えられるのか、住民の意思を尊重しているか、をよく考えて税金を使うこと。以上を条件にして賛成。 利根町民

前協議会が利根町側の都合で合併できなかったが、今、現在は龍ヶ崎市側にその気はない様に思われる。前回の事があるからと利根町住民に不利益があっても合併することは絶対によくない。龍ヶ崎市、利根町両住民に利益、不利益は多少発生するにしても、あくまで対等（住民サービス、住民負担）でなくてはならない。 利根町民

自主的というのは、住民自らが行う行動であり、国や県から合併構想を示されるのではなく、各市町村どうしの合併気運の盛り上がりを手助けしてくれることではないでしょうか。

国や県は市町村の合併や分離をしやすい環境づくりをしてくれるのが役目だと思います。何処が合併して良くなったと言うことがわかれば、自ずと合併が推進されると思います。 利根町民

子育て支援の向上、よりよい住環境の充実が出来るのであれば合併してもいいと思います。 龍ヶ崎市民

合併することにより、市民税等軽減され、暮らしが良くなるのであれば賛成いたします。 龍ヶ崎市民

2 将来目指すべき合併パターンに関する意見 （7件）

今回の構想案では、五霞町は、当面単独、将来的には古河市との合併という位置づけがな

されている。平成14年の五霞町の住民意向調査では埼玉県への編入を求める意見が回答の8割をこえており、現在も民意の多数が古河市との合併を望んでいるとは思われない。

五霞町の民意が埼玉県編入であるならば、それを否定するような構想を作成すべきではない。茨城県では、こうした点を考慮し、構想には「五霞町については、地理的特性、及び過去に埼玉県幸手市と合併協議を実施した経緯等を勘案し、民意の意向によっては幸手市、栗橋町等の埼玉県の自治体等との合併も考慮に値する」旨を明記すべきである。五霞町民

現状のままでは、公共施設・機関の利用、道路の整備、五霞町内及び近隣施設の効率的な利用、の3点で不便を感じることから、幸手市（埼玉県）との合併を推進すべき。五霞町民

私としましては、また多くの友人たちも五霞町が埼玉県の幸手市や栗橋町と合併することを望んでおります。しかしながら、今回発表された素案を見る限り、茨城県が今でも五霞町の埼玉編入に理解をもっていただいているか、それとも現在ではもう茨城県が五霞町の埼玉編入を許さない意向であるのかわかりません。茨城県が五霞町の埼玉編入を認める考えなのか、それとも許さないつもりなのか、明確に表明していただきたく、また、できれば利根川の右岸という場所にあるがために生活圏がほぼ完全に埼玉県に含まれる五霞町の事情と、実際に埼玉県の自治体と合併協議を行ったという経緯をお汲みいただき、五霞町の埼玉編入を認めて頂きたく何卒よろしくお願いいたします。五霞町民

龍ヶ崎市と河内町は次の合併パターンでは離すべきだと思います。理由は、龍ヶ崎市のアンケートで河内と合併を望んでいるのは2.1%のみ。龍ヶ崎市民の過半数は牛久市と利根町との合併を望んでいる。

河内町はほとんどが稲敷市と隣接しており、龍ヶ崎市とはわずかしか隣接していない。龍ヶ崎市にまったくメリットがない。1万人のメリットより8万人のメリットの方を尊重すべき。

河内町は東京のベットタウンではなく稲敷市と酷似している。

JA

牛久市との合併を望みます。牛久市は龍ヶ崎市とのつながりが第一位なのに、何故、つながり順位の低い阿見町やつくば市と同じグループなのか。龍ヶ崎市民

牛久市と龍ヶ崎市は一緒のグループにしてください。牛久市在住の私は、阿見町よりも龍ヶ崎市の方が親近感があります。

阿見町は土浦管轄が多く、牛久市は龍ヶ崎市や稲敷広域管轄が多いです。阿見と牛久が共同でやっているのは斎場と警察ぐらいでしょう。また、将来的に牛久は「つくば土浦」方面と合併のようですが、違和感があります。土浦とも違う気がします。（阿見と土浦は同じ感じがしますが）合併パターンを変えてください。牛久市民

合併し市町村の規模を大きくすることは市町村議員、市町村職員の総数が減る、または仕事の質が高まると考えられ、また狭い範囲の代表者が自分の利益のために市町村のお金を自由に使うこともしにくくなりるので、大賛成。

しかし、財政的に破綻しており、借金をたくさん抱えているところと、財政的に余力があるところの合併となると、余裕のある側の懐が太くない限り、合併に向けての大きな障害となる。この場合は余裕のある側に何かメリットまたは受け入れてもよい（財政以外）理由を

示す必要がある。合併反対の原因となる公共料金に関しては、必ず安い方にあわせる。

もう一つの障害として、住民感情が大きい。たとえば、つくばエクスプレスの開業後、つくば、つくばみらい、守谷は東京のベッドタウンとなりつつあり新しい店などが開業し都会的イメージが向上した。この3市を合併するとよりTXへの発言力も強くなる。数あわせまたは過去の評価かつ根拠の具体的に示されていない「つながり順位評価」により想定したと思われる「つくば・土浦合併」は、TX開業後、つくばと土浦とは別世界であること、住民感情的にイメージダウンとなり、ベッドタウンとしての価値が低下するため中止した方がよい。財政問題と住民感情的確な把握をクリアして合併を進めていただきたい。つくば市民
石岡と合併したくありません。小美玉市民

3 その他の意見（4件）

国も県も市町村をせっつくことはすべきではない。あくまでも当該地域の住民の主体意思によるべきである。住民が必要を感じれば事が起こり、気運が盛り上がっていくのだから。その時に自治体のみならず地域住民からの求めがある場合には、県はいつでも先進事例の紹介や法的なサポート等ができる態勢を整えておけばよい。ただし気運の醸成を急ぐあまり成功事例だけを抽出して紹介するようなことは避けたい。何事にもメリットがあればデメリットもあるのだから、失敗事例も併せて紹介すべきであろう。鹿嶋市民

鉾田市は議会の多数決で住民投票にて市名を決めました。隣の小美玉市は旧町名の頭文字を取って決めたようです。これも一つの方法でしょう。しかし、市名は、古い歴史の香りとか地理的な便利さ、わかりやすさも必要と考えます。この先何年も私たちの生活にかかわりあって大事なことです。多数決もいいが、学識経験者の意見とか歴史的、地理的なものも加味して欲しかったです。鉾田市民

「県南で50万都市を」と知事はおっしゃっていますが、人口や財政規模だけで合併を議論するのは間違っていると思います。したがって、合併を議論するまえに、自治体同士の歴史的なつながりや住民感情を慎重に見極めるべきです。特に土浦市のように長い歴史があり、昔からのそこに住んでいる住民が多い自治体では、市の名称に深い愛着があります。私は数年前に他県から土浦市に移住してきた新住民ですが、土浦という名称に対し、長い歴史にわたり都市機能を維持し続けてきた先人たちへの敬意と深い愛着を感じます。

財政的に大きな危機的な自治体以外は、もう少し慎重に話を進めるべきです。そして、過去の歴史を大切にすべきです。最近、県内ではいくつかの新しい名称の自治体が生まれましたが、特に名称について疑問に思うことが多すぎます。失われた名称は戻ってきません。それに伴って住民の市に対する愛着が失われます。土浦市民

合併後の市町村の実態を聞くと決してよい結果ばかりが耳に入るわけではないので、合併の是非については何とも言えない。しかし、私が勤める町では、まだ未合併。来年度の予算もあぶない状態である。県の示す構想対象にあげられているが一度合併協議が解散した経緯があるため合併の話が進まない。今後、県からの指導が入るとよいのではないかと考える。将来の人口減少を考えると、広域合併を進めるのが良いのではないかと考える。石岡市民